

村消防団が水防訓練



在四十種類以上あるうちの、越水現場の堤防を補強する場合に用いられる「改良積み土のう工」。漏水に対応した「月の輪工」。川表の崩壊や透水を防ぐ「T型マット工」。急流部において流水を緩和する「木流し工」という四種類でした。

ここ数十年は、建設省阿賀野川工事事務所、新潟県土木事務所等の努力により水害は無くなってきていますが、「備えあれば憂いなし」という言葉があるように、水害に対し関心を持ち、いざという場合に備えて日頃から準備していることが大切です。

緊迫した戦い ライフル射撃県予選

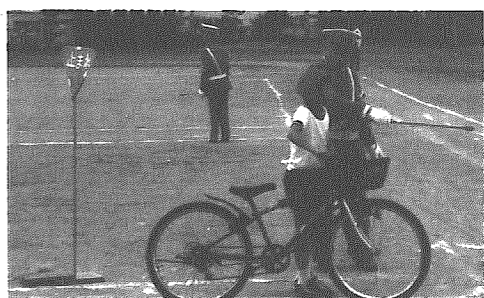


新潟県ライフル射撃協会主催による第五十回国民体育大会ライフル射撃（ビームライフル）新潟県予選大会の第一次予選が、六月十一日沢海の改善センターで行われました。

参加者は腕に覚えの有る十二名が参加し、それぞれ高校生の部、成年女子の部、成年の部の三部門に分かれて争われました。射撃方法は各部門で異なっており、高校生の部では立射、成人女子の部ではテーブル射撃、成年の部では立射とテーブル射撃の両方を用いたもので、十メートル離れたの向け四十発の持ち玉で四百点満点を目指しました。

競技では一人持ち時間四十五分（成年の部では五十分）ということもあり、長く緊迫した戦いとなりました。

七月九日に会場を同じくし、第二次予選が行われ、そこで団体（今年は福島県の二本松市が会場）に出場できる選手が決定するという事です。



しっかり止まって左右確認

自転車に乗る場合の正しい知識や技術、交通ルールを学ぶことにより、児童が交通事故に合わないよう毎年行われているもので、南警察署員や交通安全指導員のみなさんが協力しました。指導で強調されていたことは、最も児童の交通事故に多い「車の直前直後横断」、「道路への飛び出し」についての注意でした。

その後は実際に自転車を使い、交差点や信号機、横断歩道が設けられた模擬コースで、実技訓練に励みました。

救急車出動状況

◆5月の出動件数	4	(15)
主な出動原因	交通事故	1 (3)
	一般負傷	1 (5)
	急病	2 (7)
() は4月以降の累計		

農業経営基盤強化促進法に基づく「農業者認定制度」が平成七年六月より発足しました。

農業者認定制度とは、農地の買入、又は借入によって経営規模の拡大を志向する農業者が農業経営改善計画を作成し、これが村の基準に適合する場合、村が認定を行うことにより、農用地の受け手（担い手農家）を明確にしようとするものです。

認定農業者になりますと農業関係機関、団体等が経営改善計画達成のための支援活動を行ったり、低利融資が利用できる等の支援措置が用意されています。

なお農業者認定制度については各農家に後日パンフレット等を配布する予定ですが、詳細については役場農政商工課、農業委員会及び農業協同組合等に問い合わせてください。

横小グラウンド 改修工事始まる



横越小学校グラウンド改修

横越小学校グラウンドは、以前から水はけの悪さが指摘されており、雨が降ればグラウンドの使用が困難となる状態が続きました。

そこで去年秋頃から改修工事の設計作業に入り、五月十九日の入札を機に大がかりな工事が開始されました。

月二十六日までを予定しており、工事費は総額で三千六百五万円となります。

村民プールでは、老朽化に伴い工期を五月二十五日から七月十五日と定め、工事に取掛りました。

工事内容については、水槽の塗装、プールのサイドの平板の張り替え、更衣室・機械棟の外壁の塗装、一部フェンスの補修等です。

昭和三十七年にプールを建設して以来何度か補修工事をしてきましたが、今期工事は大がかりの工事になります。

工事費は総額で九百十七万円となります。

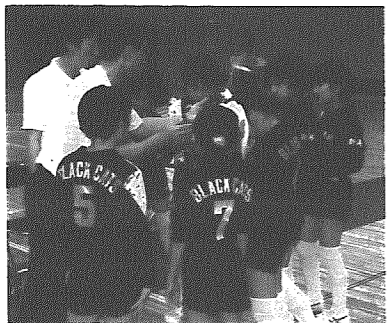


村民プール改修

完成後は、地上排水で八割、地下排水で二割の雨水が処理できることとなります。

工期については、平成七年八

第15回ライオンカップ 全日本バレーボール 小学生大会開催



第十五回ライオンカップ全日本バレーボール小学生大会新潟ブロック大会が村総合体育館で、六月十一日開催されました。

男子四チーム、女子十五チームが参加。横越小学校六年の帆苺智恵さんの選手宣誓後、各チーム持てる力を十分発揮した試合が開始されました。

試合結果については、四・五年生からなる横越ブラックキャッツJrが八位、五・六年生からなる横越ブラックキャッツが三位となり、それぞれ好成績を収めました。

ご協力に感謝します 「緑の羽根」募金運動

平成七年度における「緑の羽根」募金運動は、二十一世紀へ向けた国民参加の森林づくりをめざして全国で展開され、一般家庭への協力をお願いしましたところ、寄せられた募金は下記のとおりとなりました。

このように、目標額を達成できましたことは村民の皆様方のご理解とご協力の賜と、厚くお礼申しあげますとともに、募金結果についてご報告申しあげます。

「緑の羽根」募金結果

目標額	二四五、〇〇〇円
家庭募金	二五〇、三三三円
達成率	一〇二・二%
募金内訳	
横越	一一三、四一三円
沢海	三三、九九九円
木津	二七、九五二円
二本木	三三、一〇九円
小杉	二二、六〇〇円
藤山・駒込	八、三〇〇円

文芸欄 短歌

(公募作品)



梅の花一輪二輪とほころべば老のたつきも息吹き始めぬ
(沢海) 伊藤 吉 作
雪とけて歩く先々ほのぼのと陽炎ゆるぐ屋のひととき
(小杉) 小田 トキイ
ひた待ちし春は来にけり霞降る空に雲雀の声の聞ゆる
(木津) 佐藤 安 衛
歌いっつ一年生の帰る来る帽子に桜の花びら一つ
(沢海) 清水 雅 美
春耕に心せわしく行き来するふと見し道辺に犬ふぐり咲く
(沢海) 渋谷 ウタ

山鳩の声に目覚めて障子戸をただ眺めしは何時かもありぬ
(沢海) 高橋 一 夫
川べりの枝は緑を日毎まし川の水面に影をおとせり
(沢海) 角 田 政 恵
泉境に交わる道路雨の降る中に濡れ立つ標識を見つ
(小杉) 中川 マツノ
両の手に綿菓子持ちし幼な子の櫻の下を駆け抜けてゆく
(沢海) 藤 田 千代美
雪どけの水のひろがり迂りくる光りの波が路面を塞ぐ
(新潟) 細山 四郎